

今年、弘前城天守は  
石垣修理のため  
曳屋工事が行われます



# 参画だより

弘前市マスコットキャラクター『たか丸くん』

No.56  
2015.7.31  
弘前市民参画センター

PICK UP!

男女共同参画の視点で読む  
**世界の格言・名言**

なりたかった  
自分になるのに、  
遅すぎるということはない

ジョージ・エリオット



弘前市民参画センター事業紹介「第4回市民ボランティア交流まつり」ほか P 2・3

まなぼ「作家・宮尾登美子さんの生き方」 P 4

おとこの気持ち聞いちやいました「ニコニコ顔に似合わない即答」 P 5

さんかくひとりごと「女性の夢を乗せて走るタクシー！」 P 5

ひと グループ  
男女・団体紹介「特別ではない、身近な存在として」 P 6

利用者・利用団体紹介「レイ・ロケラニ」ほか P 7

本の紹介「ピンクのチビチョーク」 P 8

センターからのお知らせ P 8



## 第4回市民ボランティア交流まつり 「つながろう！ここから生まれる地域のきずな」



参加者ミーティングで活動をPRする弘前大学ボランティアセンターの学生

2月15日、「第4回市民ボランティア交流まつり」をヒロコで開催しました。

このイベントは、市民参画センターやボランティア支援センターを日ごろ利用している団体が企画運営をし、団体間の交流や情報交換、活動内容紹介、並びに男女共同参画の視点を持つことへの理解と社会参画を促すこと目的に、市民との交流を深める場として実施しています。

オープニングの前に全37団体が参加し、コミュニケーションを円滑に行うためにグループ同士のミーティングが行われました。各団体のメンバーは、自己紹介をして活動をPRし和やかな雰囲気で始まりました。

### ★活動発表★

オープニングセレモニーに続き8団体による活動発表会が行われました。「おはなしるんるん」の発表では集まつた親子が紙芝居やお話を楽しみました。さらにステージでは「弘前学院大学吹奏楽サークル」の演奏や「弘前ねむの会ファミリーコーラス＆ノーザンウイング」の手話を取り入れたミュージックパフォーマンスなども披露され、会場はたくさんの人で熱気に包まれていました。



弘前ねむの会



おはなしるんるん



発表を楽しむ来場者



弘前愛盲協会しらゆり会



オカリナ・アンサンブル  
こだま



新日本婦人の会弘前支部

### ★展示★

会場には、22団体による活動紹介のパネルが展示されました。「HEP21エコクラブ」のパネルでは、子どもたちが自然観察の記録を展示し、環境活動の様子を紹介しました。「アピオあおもり（青森県男女共同参画センター）」では男女共同参画に関するクイズに答えると景品をもらえるコーナーもあり、来場者はそれぞれの団体の活動に理解を深めていました。



HEP21エコクラブ



わた帽子の会



児童デイサービス すてっぷ



JICA東北支部

## ★体験・販売★



体験コーナーでは、囲碁や煎茶道を子どもたちに指導している「ウイークエンド囲碁クラブ」や「ウイークエンド子ども煎茶道」のメンバーが来場者に手ほどきをして交流をしていました。会場には肩もみやリンパマッサージを体験したり、絵手紙や押し花作りができるコーナーもあり、来場者は思い思いに各ブースを回り楽しんでいました。

福祉施設で作られたパンやお菓子などの販売コーナーでは、イベント終了前に売り切れになるところもあり人気を集めっていました。また、難病の子どもたちの夢をかなえるための活動支援グッズの販売をした「マイク・ア・ウイッシュ・オブ・ジャパン」のコーナーや、バングラデシュやネバールの女性たちの自立支援を目的に手づくりの雑貨やスペースを販売した「おひさまプロジェクト」のフェアトレード商品なども販売され、来場者は担当者から説明を聞きながら買い求めていました。

好評のパンの販売  
「抱民舎ゆいまる」  
(写真右)と「七峰会  
エイブル」(写真下)



## 「さんかくネット」子育てサポーター研修会

心肺蘇生法の指導をする講師の奥谷さん



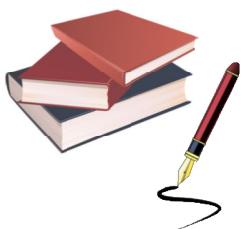
説明を聞いて学ぶ  
子育てサポーター

3月14日、弘前市子育てサポートシステム「さんかくネット」子育てサポーター研修会を市民参画センターで実施しました。昨年に続き行われた救命救急に関するこの研修は、サポーターが安心して一時保育ができるよう 「子どものけがと病気への応急手当」と題

し、弘前消防署の奥谷和行さんが講師を務め行われました。

応急処置の基本的対処法として傷病者への体位の取らせ方や圧迫止血法、熱傷、熱中症、低体温時の対応を学びました。奥谷さんは、命に係る低体温時の対処について、毛布で体を包む保温はいいが、電気毛布などを使用して加温をすると急に血液が回り心臓が止まることにつながることなど、注意点を説明しました。また、子どもは意思の疎通が難しいため少しの異常でも注意をして、託児中に子どもの様子がおかしかったときにはメモをとったり、おう吐物や便を携帯電話などで写真を撮って医師に見せると、大切な情報として伝わるとアドバイスしました。乳児や成人の人形を使用した心肺蘇生法では、サポーターが心臓マッサージの力の入れかたやコツなどを奥谷さんに確認し熱心に聞いていました。

# まなぼ



このページは男女共同参画についての学びを深めようとすることから企画されているページです。

2014年12月30日、作家 宮尾登美子さんがこの世を去った。彼女のドキュメンタリーパン組に接して「作家・宮尾登美子」に興味を抱いた。作品の多くは映画・舞台・テレビドラマになって、運命にあらがう力強い女性の姿が数多く書かれている。彼女の生き方そのものがその源流にあるのだろうか。今年は終戦後70年の年である。宮尾登美子もまた、敗戦により地獄の苦しみを味わったひとりである。戦時中17歳という若さで結婚・出産、乳児を抱えて開拓団の一員として満洲へ渡ったが、間もなく敗戦、異国之地で味わった飢えと恐怖はいかばかりか？生と死の惨状に直面した戦争体験は彼女にとって作家を志す原点となったという。今回は宮尾登美子の生き方に学ぶ。

## 作家・宮尾登美子さんの生き方

### ○ 生い立ちの秘密

12歳のときに自分の生い立ちを知る。女衒（ぜげん・芸妓娼妓紹介業）の父と愛人の間に生まれた子だということを呪い、人にも隠し、一生の恥としてきたが、後にこれを書くことが自分の使命だと思うようになる。世の中は父の仕事をさげすんでいたし、父への憎しみが大きかった。

### ○ 結婚・出産・離婚

女学校を卒業した登美子は東京の大学に無試験で合格したが「女に学問はいらない。生意気になるだけだ」と父は進学を許さなかった。国民学校の代用教員として働いたときに同僚に求婚され、結婚を決意する。父への憎しみから逃れるように。親子3人の満洲での避難民としての暮らしは350日にも及んだ。次々と同胞が死んでいく悪夢のような光景だった。ようやく乗った引揚げ船の中でもたくさんの人たちが死んでいった。「死にたくない、死にたくない」という思いだけで佐世保の山を見たという。たどり着いた夫の実家では慣れない野良仕事で結核になり、「自分は死が近いのでは？」と感じた。自分の娘に何かを残さなければという思いから、昭和22年6月18日、日記を書き始める。書くことで病も癒され、昭和26年からは職業婦人として保母の仕事に就く。そこで非凡な才能を發揮したという。昭和37年には婦人公論に応募した「連」で女流文学新人賞受賞。そして翌年、夫との決定的な別れがやってくる。初めて頭を強く殴打された登美子は100円玉を握りしめたまま1月の雪の中へ飛び出し、家へ帰ることはなかったという。2ヶ月後に離婚。

### ○ 再婚・破産・夜逃げ

離婚後、高知市に居を移し、新聞に連載を書き、テレビやラジオの脚本も引き受けた。執筆活動に精を出すようになる。昭和39年には高知新聞の記者と恋に落ち再婚。その後、手を広げた事業に失敗して破産、夫と2人逃げるよう故郷を後にする。東京へは亡くなった父が連れてきたのだという思いがあった。そこにはふつふつとたぎる文学への思いと広辞苑一冊があった。

### ○ 書くことへの執念・自費出版・太宰治賞・直木賞

女流文学賞を受賞後の10年間は何度も自分の才能に見切りをつけたという。原稿は幾度となく突き返される。作家とは孤独と絶望との闘いだという。転機は昭和46年の3月、自費出版した「櫂」が太宰治賞受賞。6年後には「一弦の琴」で直木賞。遅咲きの女流作家宮尾登美子の誕生である。

宮尾登美子の生き方に共感した。旧満洲からの引き上げの話はテレビだけではなく、自分の親族からも聞くことがあった。涙なくしては語れない、聞けない話である。先輩方の辛い体験を胸に刻み、ぶれない生き方をしたいものだ。



- Q. 男女共同参画という言葉を知っていますか？  
A. 全然知らない。「ことば」も、「内容」も。
- Q. 職場で男女の差別はあるような気がする？  
A. 差別はないが、職種が違う、男性は営業ではなく外勤、女性は内勤で事務仕事。男女比が5：1で男性が多い。
- Q. パートナーと出会ってから何年ですか？  
A. 大学時代に教育実習で会ってから…14年になります。
- Q. 家事で何かできることはありますか？  
A. 何でも。掃除、炊事…「18歳から一人暮らしだったので」子育ても、家内が不幸があって実家に帰ったとき、その間生後10ヶ月の赤ちゃんに食事、おむつ、お風呂…と一緒に寝るまで面倒をみました。
- Q. パートナーには専業主婦でいてほしいですか？（経済的に問題がなければ）  
A. 結婚したときは共働き、子どもが生まれて専業主婦、これからの仕事は本人任せ。（笑）
- Q. 育児休業は取りましたか？  
A. 会社では規定があるが、男性は取ったという話を聞かない。取っている人がいるのかもしれないが。女性は取れる期間が長いので働きやすい会社のようです。
- Q. 今の女性、これからの女性に望むことは？  
A. あまりない。（速っ！！。思わず笑い）



30代・会社員・既婚

インタビューを終えて

～ニコニコ顔に似合わない即答～

よく動く。接客していたかと思うと、もう携帯電話に出ている。営業課なのに資材課？と思うくらい仕事の幅が広い。会話も若者との車の話、雑学から政治経済と隙がない。奥さんとは学生時代、教育実習で会つてからの付き合いとロマンチックな一面もある。自ら動き抜く、こういう人が人を動かすのではないかしら。

梅

～女性の夢を乗せて走るタクシー！！～



さんかく  
ひとりごと

女性の就業率がわずか16%のアフガニスタンで奮闘する女性唯一のタクシー運転手、サラ・バハイさんがテレビで紹介されていた。アフガニスタンでは「女性は守られるべき」というイスラム教の教えを極端に解釈し、女性を家にとどめておくため、職業を選ぶ自由もなく、女性の社会進出には多くの制限があるらしい。例えば、マーラムと呼ばれる近い親族の男性の付き添いなしで家の外で活動することは一切禁止。ブルカと呼ばれる長いベールでつま先から頭のてっぺんまで覆い、男性の店主から物を買ってはいけないし、男性の医師から手当を受けてもいけない、など想像を絶する現実がある。

そんな中でタクシー運転手という仕事に挑戦している彼女。男性運転手のタクシーに乗れない女性客にとって強い味方となっている。その活躍をよく思わない男性から車をいたずらされたり脅迫電話がかかってきたりするが、それでも彼女が運転を続けているのは16人の家族を支えなければいけないからとのこと。少しでも多くの収入を見込めるタクシー運転手になると自分で決めたのだから、今はとても幸せだと話す。彼女の後に続く、「サラさんのように強くなりたい」「社会の一員として表舞台で働きたい」という女性の夢を乗せて、今日もタクシーを走らせているという。

放送の最後に、実はアフガニスタンでも1978年の旧ソビエトの侵攻が始まる以前は、女性が自由におしゃれを楽しみ、仕事で活躍できる社会だったというコメントがあった。戦争や紛争の中で社会が一変してしまう経験をした女性たちの思いは…。



# 「特別ではない、身近な存在として」

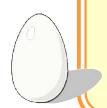
「セクシユアルマイノリティ・ボランティアサークル」

## スクランブルエッグ

### ●そういうのは都会の話?

メディアで耳にする「性的マイノリティ」という言葉。聞いたことはあるけれど「よく分からぬ、遠い世界の話」と思っていませんか? 知つてもらうことで偏見をなくしようと活動しているスクランブルエッグさんにお話を伺いました。

### ●どんな団体?



いくつかの調査から、性的マイノリティは人口の5%程度は存在するとされています。クラスに1~2人はいるということですね。どんな地域のどんな家族のもともに生まれる可能性があるし、実際に地域の中で多くあります。ただ、周囲にはあまり自分の性のあり方を明かさないので、「会ったことがない」と思っている方は多いのではないでしょうか。

恋愛や性の話は、子どもでも大人でも親しい間柄ではよく話題になるテーマ。反面、とてもデリケートなものもあります。一般的な男性・女性でも、「自分は周りと違うのではないか」「将来どうなるのだろう」という悩みを抱くこともありますよね。

どんな人を好きになるのか、どんな性別で生まれ、生きていいくのか。性に関する要素は誰もが自然に持っているものです。それは少数者も多数者も変わりありません。



セクシユアルマイノリティに関する講習会の様子

### ●おかしなものではないの?

しかし、性的マイノリティの場合は、悪い趣味や病気だとう誤解がいまだに多く、自分から周囲に打ち明けることは容易ではありません。どこで差別を受けるかわからないのが現状なのです。私は性同一性障害の当事者ですが、それをこうしてお話しすることは今でも勇気が要ります。

### ●サークルが目指しているもの

本当は一人ひとり、性のあり方は少しづつ違います。お互いの違いを認め合い、幸せを祝福し合えるような、そんな家族や友人が地域に増えていくことを願つて、等身大の私たちのことをお伝えする活動を続けています。

そう、私たちは特別ではなく、もうずっと以前から共に生きていました。

スクランブルエッグは、同性愛や性同一性障害などの性的マイノリティ（セクシュアルマイノリティ）と呼ばれる人たちについて知つてもらうため、平成20年より青森県内で活動している市民サークルです。性的マイノリティの当事者やその友人など、5月現在で35名の会員が参加しており、性の多様性を伝える展示イベントや講座、講師の派遣を行っています。平成21年には、カルチャーロードにも出展しました。



昨年青森市で開催された「IDAHOメッセージ展」





去年の発表会の楽屋にて

私たちちは参画センターをとても気に入っています。市の中心部で駐車場があり、冷暖房も完備され、なによりも使用料が時間単位でとても安いということです。

隣室が使用中のときは、音をできるだけ低くして、迷惑をかけないように気をつけています。このまま、できるだけ長く使用できることを願っています。さて、私たちがフラダンスに魅せられているのは、ハワイの

青い空を感じながら、愛の歌に包まれ、手足を思いっきり伸ばしながら歌と踊りの世界に浸れることです。踊ると心地よい疲れがあります。先輩たちは、七〇八〇歳代でも踊っています。足腰が立つうちは何歳になつても踊れます。

そして年一回の発表会のほか、施設の訪問やカルチャー祭り、去年は市民会館で二回、県外にも足を延ばして踊りました。

表する場所があると練習にも精ができます。ちょっと普段の生活では着れないような衣装に身を包み、つけまづでメイクもバツチリ！還暦をすぎて三年になりますが、気分は四〇代です。これからも若さを求めて、日々努力をしていきます。

## ハワイの風に魅せられて

### レイ・ロケラニ

弘前市民参画センター利用団体紹介

私たちちは、月二回ヨークカルチャーセンターでフラダンスを習っている団体です。なにしろ会員の半分が六〇歳を過ぎているため、すくに忘れてしまい、復習を兼ねた自主練習のために集まっています。

女性だけの集まりのため、男女共同参画に該当しているのでは？と思いつつも四月からは月二回こちらにお世話になっています。

## センター利用者に突撃インタビュー

### 20代・男性



#### ◆センターの利用目的と利用頻度は？

公務員試験の勉強のために、夕方から9時すぎまで来ています。（高校のときにも利用していました）回数は1ヶ月前まではぼちぼち程度でしたが、試験が近づいてきたので毎日使わせてもらっています。

#### ◆当センターを利用してみた感想は？

以前は図書館を使っていましたが、センターのほうが時間の融通がきくことや友達と話ができる、飲食ができるので気軽に利用しやすくて良いですね。

#### ◆当センターに要望はありますか？

気軽に利用しているのでそんなに要望はないです。

#### ◆「男女共同参画」についてどう思いますか？

ことばとしては社会に浸透しているので、あらためて聞いても違和感ないです。感想としては昔から比べると男女の差がなくなってきたので、仕事面でも、男性が適した仕事、女性が適した仕事の役割分担も相互に理解しあい、大きな差はなくなってきたと思っています。我が家でも両親が共働きしているなか、母は家事と仕事をがんばってくれているので、掃除や洗たくなど自分で手伝えることはしています。でも、すべて満足している訳でもないです。まだまだ見直していくことがあります。たとえば、映画館で「レディースデー」など女性に特典があっても男性にないです（笑）。少しずつ改善していってほしいですね。

#### ◆「今一番」の楽しみは何ですか？

早く試験が終わってほしい！無事就職が決まったら一日のスケジュールをたてて仕事が終ったあとにジムに通いたいです。



試験が2日後に迫り猛勉強している最中なのに突撃インタビューを快く受けさせていただきました。ひとつひとつ丁寧に答えてくれる姿に誠実さを感じました。無事合格できますようにお祈りしています。  
by のん

## 市民参画センターからのお知らせ

### ★女性のための専門相談

日時：平成27年11月10日(火)14:00～16:00

平成28年3月8日(火)14:00～16:00

場所：弘前市民参画センター

内容：法律に関する問題について、弁護士がアドバイスします。

※あらかじめ電話でご予約ください。ご予約の際、弁護士への相談がスムーズにできるように相談員が相談内容をお伺いします。

定員：3名（1人40分程度）

問い合わせ：アピオあおもり

(青森県男女共同参画センター相談室)

017-732-1022 (9:00～16:00 水曜定休)

### ●開館時間の変更

市民参画センターは、8月1日(土)～8月4日(火)の4日間、ねぷた運行による交通規制等のため、17時で閉館します。

### ●臨時休館

市民参画センターは8月26日(水)・27日(木)の2日間、施設点検等のため休館します。



### 編集後記

定年退職後の再任用で、市民参画センターに配属されてから早3ヶ月が過ぎました。結婚以来30数年間、妻と娘3人には「男は黙って〇〇ビール」と亭主関白を貫いてきたので、いくら男女共同参画を推進する立場とはいえ、朝職場で床を掃き、机を拭いている姿を妻や娘に見せたくないなあと思っている今日この頃であります。

b y 白



## 弘前市民参画センター

〒036-8355 弘前市大字元寺町1番地13

TEL 0172-31-2500

FAX 0172-36-1822

開館時間 9:00～22:00

休館日 12月28日～1月3日

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/sankaku/>

### 本の紹介

#### タイトル

「ピンクのチビチョーク」

作  
新藤悦子  
絵  
西巻芽子  
発行  
童心社



#### ～大好きなチーばあば～

チーばあばがいろんなことを少しづつ忘れていってしまう病気になってしまった。「私のことも忘れてしまうのかなあ」とユウちゃんは思った。「それでも私はチーばあばが大好き！」

夏休みにユウちゃんはチーばあばの家にお泊りに行った。チーばあばと一緒にチビチョークで地面にお絵かきをして遊んだ。チビチョークの歌を歌いながら。その年の冬、オージいじが突然倒れてあっけなく天国へ行ってしまった。大きなオージいじがいなくなると家の中はがらんとして、小さなチーばあばはぎゅっとちぢんでもっと小さくなった。

そして春、犬のミーシャもいなくなった。チーばあばはぎゅぎゅっとちぢんでもっともっと小さくなった。

夏が来てチーばあばの家にまたお泊りに行った。でも玄関に出てきたチーばあばはどこか変。チーばあばはボーっとしていることが多くなった。去年のチーばあばはどこかへいってしまった。お母さんも悲しそうにしていて…。でも、チビチョークのお絵かきでチーばあばの顔が少しづつ笑顔になっていく。チビチョークの歌も思い出した。チビチョークのまほうで楽しい時間を過ごした。「チーばあば、また遊ぼうね！」

認知症という言葉が普通にテレビなどからも流れ、病気のことも認知されるようになった。2025年には認知症の人は高齢者の5人に1人を占めるようになるというデータも。たくさんの子どもたちがユウちゃんのように認知症の人に接する機会が増えるだろう。家族のことや認知症のことを考える子どもたちが増えるように祈らずにいられない。夏休みに、おじいちゃん、おばあちゃんに会いにいく子どもたちも多いのでは…。

by komori

